

R8.6.30 研修参加者アンケートのまとめ

A: 本日の研修で印象に残ったこと・内容をご記入ください。

【園関係者】

1. 幼児教育と小学校教育の違いへの理解

- ・幼児教育と小学校教育の特徴や違いを、分かりやすく学ぶことができた。
- ・それぞれの違いを踏まえて保育や教育を考えていくことの大切さを感じた。
- ・園と小学校の職員が、遊びや環境、子ども理解について共通理解することが重要だと分かった

2. 連携と接続、架け橋の考え方

- ・「連携」と「接続」の違いを知り、園と小学校がどうつながるかを考えるきっかけになった。
- ・園でしてきたことを小学校で「もう一度」するのではなく、引き続き伸ばしていくことが大切だと分かった。

3. 段差をなくすのではなく、乗り越えられる段差にすること

- ・園と小学校の間には、なくすのではなく乗り越えられる、意味のある段差が必要だと学んだ。
- ・子どもがその段差を乗り越えられるように支えることが重要だと感じた。

4. 「子どもにとって」を大切にする視点

- ・「子どものために」ではなく「子どもにとって」という考え方の大切さに気付いた。
- ・大人の価値観を押し付けず、子どもの立場に立ち子どもにとってどうかということを考える必要性を感じた。

5. 遊び・環境・見守りを通した子どもの学びの支援

- ・遊びや環境を整えること、大切にすることが、子どもの学びにつながると分かった。
- ・「危ないから」と止めるのではなく、子どもを見守ることで、経験を通して学ぶ機会を大切にしたいと思った。

【小学校関係者】

1. 幼児教育と小学校教育の違い・接続への理解

- ・園と小学校の接続、とりわけそこにある段差の捉え方について深く考えることができた。
- ・幼児教育と小学校教育には段差が必要であり、その段差を「なくす」のではなく「価値あるもの」にすることが大切だと感じた。
- ・こども園等の「資質能力」について初めて知り、接続を考える上で参考になった。
- ・指導要領等を根拠にした園・小学校の接続のお話に納得できた。

2. 「見守る」ことの大切さ

- ・手を出しすぎることで、子どもの学びの機会を奪ってしまうことを学んだ。
- ・「放任ではなく見守る」姿勢を教育現場に取り入れたいと感じた。
- ・先回りして口出ししがちな自分を反省し、子どもたちの気付きや考える力を大切にしたいと思った。

3. 子どもの主体的な学び・経験から学ぶこと

- ・経験や失敗から学ぶことの大切さを再認識した。
- ・ねらいをもった遊びの中で、子どもたちは非認知能力を身に付けていると分かった。
- ・子どもたちが挑戦できるような環境づくりが重要だと感じた。

4. 小学校教育への生かし方・実践へのつながり

- ・幼児教育で育まれた力をさらに高めていけるような小学校教育にしたいと思った。
- ・子どもたちが挑戦できる環境を大事にし、学びの多い活動にしていきたい。
- ・学ぶことが楽しいと思える学習環境づくりの大切さを感じた。

5. 自立と支援のあり方

- ・自立とは依存先を見付けること、困った時に助けを求められることが大切だと学んだ。子どもが困った時に「助けて」と言えるような支え方を大切にしたい。

B: 本日の学びや気づきを生かし、今後どのように取り組もうと思われませんか。

【園関係者】

1. 一人一人の個性と集団の楽しさを大切にすること

- ・一人一人の個性を大切にしながら、皆が楽しく取り組める保育を目指したい。
- ・子どもたちが自分の思いや意見を自信をもって表現できるよう、丁寧に認めて関わっていききたい。

2. 子どもの興味・関心を生かした遊びからの学びの芽生え

- ・子どもたちの興味関心を大切にし、遊びにじっくり取り組める環境を考えたい。
- ・夢中、熱中できる遊びを通して、学びの芽生えをしっかりと育てていきたい。
- ・子どものやりたい気持ちを肯定的に受け止め、まずはやってみてから一緒に考える姿勢を大切にしたい。

3. 環境づくりと保育者の学び続ける姿勢

- ・非認知能力を積み重ねられるような環境づくりと関わりを工夫していきたい。
- ・保育者自身の力を高めるために、日々学び続け、周りにアンテナを張ることを続けたい。

4. 幼児教育と小学校教育の理解と接続

- ・幼児教育と小学校教育の特色や違いを理解した上で、自園の子どもたちと向き合いたい。
- ・子どもたちがスムーズに小学校へ就学できるよう、小学校教育への理解を深めたい。
- ・幼児教育と小学校教育の違いを踏まえながら、子どもの育ちをつないでいきたい。

5. 見守りと自立を支える関わり

- ・「見守る」ことを大切にしながら保育をしていきたい。
- ・子どもの自立を「困った時に困ったと言えること」「困った時に弱みを見せられること」と捉え、そのような子どもを育てていきたい。

【小学校関係者】

1. 園小連携・接続の推進

- ・園小接続について、丁寧に実践していきたいと思った。
- ・小学校とこども園がさらににつながっていけるように交流していきたい。
- ・幼児期にどのように過ごしているのか、もっと知る必要があると感じた。

2. 低学年児童への理解と支援

- ・低学年児童へのアプローチに生かしていきたい。
- ・小学校教員が、幼児期に身に付けた力を理解し、皆が楽しみながら壁を乗り越えられる仕組みや環境を作っていきたい。

3. 子どもを見守り、自分で考えさせる姿勢

- ・できるだけ子どもを見守り、自分で考えさせるという視点をもっと意識してみようと思った。
- ・子どもたちの学びの機会を奪わないようにしたい。
- ・子どもたちにとって、目的となる遊びがどのように表れてくるのか意識したい。

4. 子どもの学びをさらに伸ばすこと

- ・子どもたちの学びを進化させていけるように頑張りたい。
- ・こども園で育ててもらった力をさらに伸ばしていきたい。

5. 自分自身の教育観を見つめ直すこと

- ・自身の「子ども観・遊び観・教育観」を大切にしながら実践していきたい。
- ・日々の学校生活や授業の中で取り入れられることを考え、生かしていきたい。